

## 臨床研究の実施に関する情報公開

市立四日市病院では治験審査委員会（臨床研究倫理委員会）の承認を得て、下記の臨床研究を実施いたします。

関係各位のご理解と御協力を御願い申し上げます。

① 研究課題名	肛門管 ESD における大型電極先端系デバイスの有用性
② 研究依頼者	
③ 研究責任者	消化器内科 加藤 宏紀
④ 研究期間	承認日～2023 年 11 月 30 日
⑤ 対象者	肛門管のポリープ・早期癌の患者さん
⑥ 対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名： ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ等の診療情報 <input type="checkbox"/> その他（ ）
⑦ 研究の意義・目的	肛門管にかかる直腸 ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）は血管や粘膜下層の線維性結合組織が多く難易度が高いです。また、痔核などで太い静脈を認める場合も多いです。 大型先端電極をもつエンドセイバープラスは高出力で血管が焼灼されるため切開時の出血が少なく、出血点を押さえての圧迫凝固止血も可能です。そこで本研究では、エンドセイバープラスを肛門管にかかる直腸病変の ESD に使用し、その有用性を検討します。
⑧ 研究の方法	観察研究
⑨ 倫理審査	治験審査委員会承認日：2023 年 5 月 8 日
⑩ 結果の公表	論文や学会等にて公表予定
⑪ 個人情報の保護について	本研究実施に関わる者は、患者さんの個人情報の保護に十分配慮します。
⑫ 本研究に関する問い合わせ先	市立四日市病院 消化器内科 TEL：059-354-1111